あなたのおかげで毎日楽しい
～「これにしょうかなー」喫茶を通しての自己選択～

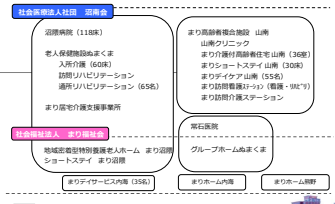
社会福祉法人まり福祉会
地域密着型特別養護老人ホーム　まり沼隈

発　表　者：ユニットリーダー　加藤勇祐
共同研究者：ユニットリーダー　細谷奈穂
：介護支援専門員　縄稚絵里香
：施設長　土井大輔

施　設　紹　介　①

社会福祉法人まり福祉会
地域密着型特別養護老人ホームまり沼隈

・2006年12月　社会福祉法人まり福祉会　認可
・2007年　1月　まりホーム熊野　まりホーム内海　移管
・2010年　4月　まりデイサービス内海開設
・2014年11月　グループホームぬまくま　移管
・2017年11月　地域密着型特別養護老人ホームまり沼隈　開設
（3ユニット定員29名　ショートステイ10名）



•まり福祉会理念
私達は高齢者の方々が、住み慣れた地域において安全で安心な暮らしができるよう、
心のこもった医療、介護、福祉サービスの提供につとめ、地域福祉の向上に貢献します。

- 施設方針
  - ✓ 入居者が穏やかに過ごせる生活空間、雰囲気を大切にします。
  - ✓ 笑顔で過ごせる生活を目指し、その人らしさを大切にしたケアを心がけます。
  - ✓ 入居者とその家族に寄り添いながら、願いが叶えられるよう支援します
  - ✓ 地域の方々との繋がりを大切にし、愛される施設を目指します。

- わたしたちの想い

ご利用者の皆様、ご家族の皆様が『この施設を利用して本当によかった』と心から思っていただける施設でありたいと思っています。

施　設　紹　介　②

☆平均要介護度

地域密着型特別養護老人ホーム：要介護4.4

ショートステイ：要介護3.6

☆平均年齢

地域密着型特別養護老人ホーム：85.7歳（男性：82.6歳　女性：86.5歳）

ショートステイ：90.1歳（男性：93.3歳　女性：88.2歳）

☆男女比

地域密着型特別養護老人ホーム：男性5名　女性24名

なんとなく感じた疑問

喫茶の紹介

移動喫茶

喫茶メニュー

喫茶虹の風景

カップの種類

一目でわかるように

喫茶との
コラボレーション
行事

スイーツバイキング

事例紹介：A様

・93歳　女性

・要介護度5

・日常生活自立度　C１　　認知症高齢者の日常生活自立度　Ⅳ

・既往歴：アルツハイマー型認知症、心不全、腹腔ヘルニア、躁うつ病、統合失調症

・好きな物：カルピス、饅頭、甘いお菓子、混ぜご飯

・嫌いな物：なし

・性格：几帳面、優しい、掃除を細めにする、良し悪しは判断せず思った事はすぐ言う、何でもハッキリ言う、顔にすぐ出る

・こだわり：おしゃれで衣装持ち、身なりは綺麗にしておきたい、首のシワが見えるのでネックの服を着ていた

喫茶を通して個別の取組み

☆個人目標

自分の意思で選んで、色々な事が自分でできる

☆ケア内容

◎選択しやすい環境を整える

メニューは実物を見て選択

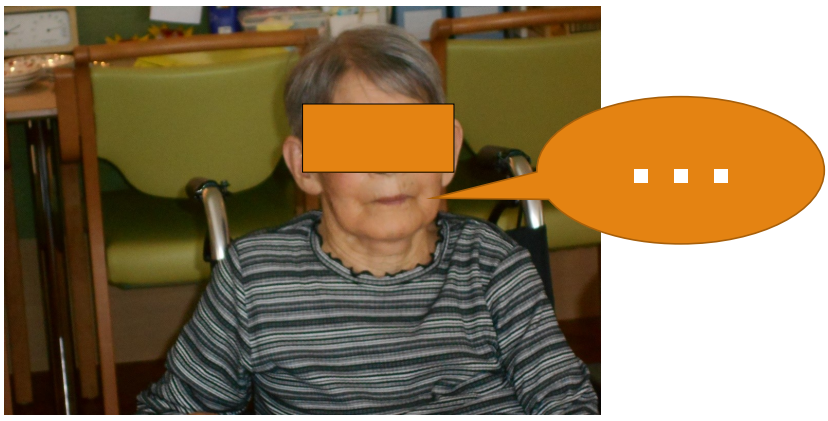
コップは二者択一で選んでもらう

◎本人の意思を尊重する

入所時のアセスメントを確認する

A様の発言等、細かく記録をとる

喫茶参加開始時の表情



オレンジコップ写真

二者択一の写真

自分で選択し自分で飲む事ができるようになった

喫茶開始してからのA様

・喫茶開始前と開始後の水分摂取量は1日900～1000mlとほぼ変わりはなかった。

・今までは、日常生活の中で選択する事はなかったが、〖喫茶虹〗に参加し二者択一の選択を始めてからは、ジュースやカップを選ぶ事が増え、「テレビが見えん」などハッキリ自分の思いを口にする事が増え、表情も豊かになった。

・介助にて飲水されていたＡ様が、自分から積極的に缶を持ち自力で飲まれるようになった。

・調子のよい時は、朝衣服を選んだり、車椅子を自走されるようになり、ＡＤＬの向上がみられた。

・入所時に行ったアセスメントを基にアプローチすることで、ＱＯＬの改善に繋がった。

・Ａ様を通して職員の意識がかわりました。自己選択の重要性を感じることができるとともに、他のご利用者様への対応にも変化がみられるようになった

取り組みを通して、お伝えしたいこと

「施設の中にいても住み慣れた町・地域を感じることができ、暮らしを豊かに楽しんでいただけることはないだろうか？」

顔見知りになること

あなたのおかげで！

笑顔になれる

一緒に笑って
一緒に泣いて
これからも一緒に

笑顔であふれる施設にしたい！！

ご清聴
ありがとうございました